

# 図書室だより

平成27年7月14日

立花中学校

図書室

## 読書感想文をおねがいします

夏休みまで1週間。懇談でぎゅ〜ぎゅ〜絞られていませんか？ まあこの1学期をどう過ごしたかの結果ですから素直に受け止めましょう。

さてそろそろ各学年で夏休みの宿題がまとまったようです。自由研究とか日誌を除けばお盆までに片付きますね！後半ゆったりしましょう。2学期の準備をしてアドバンテージを確保するののも一つかと。

さて、今年も国語から読書感想文(5枚)がでていますが、もう本は決まりましたか？もちろん前に読んだ本の感想でもOKです。ただし対象が文学(900)なので図書室の棚なら1〜10、22(外国文学)に並んでいる本です。また偉人伝(280)やスポーツ選手の回顧録(780)も使えます。

感想文はだいたい次の三つを押さえておけば形になります

- ①読んだ本の紹介(印象に残ったシーンや言葉を取り上げ説明)
- ②それに対する自分の感想(共感できるところとその理由、自分の経験との比較)
- ③本を読んで自分に影響したこと(決意、興味、探求、反省)

それぞれを思いついたままメモ書き感覚で原稿用紙1、2、1枚ぐらいに書き出します。それを読む人(先生)がおおっ！と思うような順番や表現を考え、ちょっと気になった小ネタを付け加えたら5枚にまとめられます。

いきなりスゴイものは書けませんが、上手く書けなくてもそうやって一つ作文を書くことで、経験値のUPになり次が書きやすくなります。

## 夏読書感想文Q&A 読書感想文チラシより抜粋(去年好評だったのでリサイクル)

**Q** 題名はどうつけたらいいですか。

**A** 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたい」とか思っています。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることを考えて題名にするといいでしょ。

**Q** 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

**A** 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせる、いろいろなことを見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいか、自分が一番言いたいことは何なのかははっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

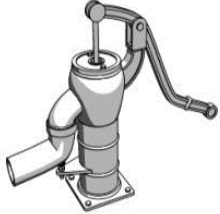


**Q** 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

**A** 読書感想文は、本を読んでの自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「(カギカッコ)」でくくりましょう。

**Q** 読書感想文は、何のために書くのですか。

**A** 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ薄かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時間が経てばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

## 今年の課題図書

<p><b>ブロード街の 12日間</b></p> <p>デボラ ホプキンソン 著 千葉 茂樹 訳</p> 	<p>舞台は150年前のイギリス、ロンドン。主人公イールは追っ手から逃れ社会の最底辺でその日暮らしの生活をしていました。が、ある病気の発生をきっかけに高名な博士のお手伝いをする事になり、そこで彼の秘めていた才能が発揮されます。一章、彼の生活が綴られる部分はちょっと読み進めにくいかもしれませんが。が二章以降博士と一緒に病気の状況を調べ、街のお偉いさんを説得し、病気の拡がりを防いでいく話はリズムよく展開し、途中ちょっとサスペンスもあり退屈させません。外国作品ですが訳のうまさもあり中学生にはどんぴしゃです。迷信から科学へ、大事な人を守るために、とテーマが明快なので感想が書きやすいでしょう。なおこの作品は実際に起こったコレラ感染の報告書をもとに書かれているので当時のロンドンの衛生状況に驚くと思いますし、そこを切り口にもできそうです。</p>
<p><b>うなぎ1億年の 謎を追う</b></p> <p>塚本勝巳 著</p> 	<p>広大な太平洋から僅か数ミリの卵をすくう、普通誰も考えないだろう。だが科学者の探究欲恐るべし、それを実現させます。当然「すくってみたら入ってました！」ではなく、日本に向かうウナギの通り道を逆にたどり稚魚を見つけ、さらに親ウナギの捕獲と少しずつ範囲を絞って行き、ついに産卵場所にたどり着きます。その中で卵を産む海の条件は何か、いつ生むのかを考えて調査方法を失敗を繰り返しつつ工夫していきます。40年間、学者人生のほとんどを費やした課程がわかりやすく書かれていますので「生き物の研究とはこんなものなのか」とか「科学には一見ムダもあるが、それも大切なんだ」といった感想が持てると思います</p>
<p><b>夏の朝</b></p> <p>本田昌子 著</p> 	<p>祖父の1周忌で訪れた母の生家、その庭の池にある蓮の花の香に誘われて過去へ飛んでしまう主人公の莉子。そこで生前の祖父と出会い蓮池と花の由来が少しずつ時代をさかのぼりながら明らかになっていく。同時に小さい時になくなった母の少女時代にも触れ莉子の抱える別の問題の解決にもつながります。ただ正直感想文を書こうと思って読むといろいろなエピソードに引っかかり「何を書こう？」となってしまいます。ここは素直に主人公と一緒に物語に入り込み、そのあとで何か書きたいことがあれば、それに絞って書くほうがいいかと。課題ではなくこの世界を楽しんでほしい作品です。</p>

## 夏休みの開館について

7月	21(火),23(木),24(金),29(水),31(金)
8月	4(火),6(木),10(月),18(火),20(木),25(火),27(木)

開館時間 午後0 ～ 午後1

通常どおり閲覧、貸出、返却を行います。8月10日までは特別貸出期間なので貸出は4冊ですが。19日以降に借りる場合は通常貸出扱いになり2冊、2週間に戻ります。

(注：先生の出張などで予定した日に開館できない場合があります)